

消防局

【款：消防費 項：消防費 目：常備消防費】

(1) 交際費 行政執行に必要な外部との交際に要する経費	262 (10)
(2) 防災センター研修事業費 防災センターの機能を活用した防災意識の普及啓発を行う。 ① 防災センターを中心とした防火・防災指導教育 ② 防災展等の開催	1,000 (1,000)
(3) 消防活動事業費 複雑多様化する各種災害に対応するため、消防活動上必要な資機材等を整備するとともに、消防活動体制の充実を図る。	40,500 (65,600)
(4) 救助隊整備事業費 複雑多様化する各種災害に対応するため、救助活動上必要な資機材等を整備し、国際消防救助隊及び緊急消防援助隊の派遣体制の充実を図るとともに令和9年度の救助隊増隊を見据え救助活動体制を強化する。	14,460 (7,038)
(5) 救急活動事業費 傷病者の救命効果を向上させるため、救急救命士の計画的な養成、教育訓練体制の充実及び活動資器材等を整備し、救急業務全体の質的向上を図るとともに、市民等にAEDの使用を含めた普通救命講習等を実施し、応急手当の普及啓発を推進する。 《災害件数の推移》	55,589 (53,806)
(6) 通信活動事業費 各種災害に対する指令管制業務を有効・適切に実施するため、市民等からの119番通報の受付や緊急車両に対する出動指令等を行う消防指令管制システムを効果的に運用する。	96,628 (257,177)
主要 No. 42 映像通信システムは、119番通報者のスマートフォン等を利用し、傷病者の状況や災害現場の状況を消防指令センター側で可視化できるものであり、消防指令業務を共同運用している伊丹市とともに導入する。	
(7) 予防活動事業費 防火対象物及び危険物施設の防火安全対策を推進する。	1,899 (1,642)

(8) 車両維持整備事業費	73, 523 (73, 550)
消防用車両及び消防活動用資機材の点検・整備を実施する。	
(9) 消防庁舎施設維持管理事業費	162, 709 (156, 459)
消防署等の施設維持管理経費	
① 施設数 消防署 4 分署 3 出張所 3	
② 基工年 昭和 42 年～令和 7 年	
③ 管理 直営管理	
	
	《尼崎市防災センター》
(10) 消防学校研修事業費	9, 126 (10, 864)
兵庫県消防学校及び消防大学校において消防業務に必要な専門知識・先端技術等を習得させる。	
(11) 職員被服事業費	24, 716 (18, 261)
消防職員の制服・活動服・救急服・救助服等の整備	
(12) 職員旅費	1, 030 (1, 819)
職員の研修旅費等	

【款：消防費 項：消防費 目：非常備消防費】

(13) 消防団活動事業費	36, 252 (46, 898)
複雑多様化する各種災害に対応するため消防団活動上必要な資機材等を整備するとともに、消防団員退職報償金を支出する。また、地域防災力の充実強化を図るため消防団への入団促進を推進する。	
(14) 車両維持整備事業費	8, 632 (8, 954)
消防団車両の点検・整備を実施する。	
(15) 消防団施設維持管理事業費	3, 168 (3, 168)
消防分団器具庫の施設維持管理経費	
① 施設数 消防分団器具庫 58 (市有 49)	
② 基工年 昭和 41 年～令和 7 年	
③ 管理 直営管理	
(16) 消防団等交付金	9, 575 (9, 575)
消防団運営経費として交付金を支出する。	

【款：消防費 項：消防費 目：消防施設費】

(17) 消防設備整備事業費	481, 565 (255, 276)
消防設備の整備を行う。	
高規格救急自動車等を整備する。	
債務負担行為 (8 年度提出分) 金額 225, 819	



《高規格救急自動車》

(18) **消防庁舎等整備事業費**

消防庁舎の施設整備を行う。

東消防署の建替え

尼崎市消防署等配置計画に基づき、若草中学校跡地において東消防署の建替工事を実施する。建替工事終了後には、東消防署と東消防署常光寺出張所を統合する。



《東消防署》

890, 829

(940, 383)

主要 第1次尼崎市公共施設再編計画（尼崎市公共施設マネジメント基本方針1：

No. 43 再編）に基づき、西消防署の建替工事を実施する。

なお、令和5年3月に策定した尼崎市消防署等配置計画に基づき、新西消防署開庁時に、中消防署三和分署を廃止し、別途部隊再編等を進める。

債務負担行為（8年度提出分）金額 105, 247

(19) **消火栓設置及び補修費負担金**

70, 026

(84, 562)

水道管工事等に伴う、消火栓の設置及び補修を行う。